

令和4年度 帖佐中ブロック学力向上アクションプラン

家庭
三二一
各「一」家庭に九〇〇の運動の引きの活用と学習の見届け
学校〇家庭に九〇〇の運動の引きの活用と学習の見届け
に関する情報提供と理解推進

市共通実践事項の具現化	学習の構えの確立	<ol style="list-style-type: none"> 1 授業前の黙想を徹底する（小学校高学年と中学校）。 2 聴くときは話す人の方に体を向け、しっかり聴く。 3 書くときは机と目の距離を意識し、背筋を伸ばして書く。 4 発表は肘を伸ばして手を挙げる。 5 指名されたら「はい」と返事をする。 6 前日に登校の準備を済ませ、忘れ物をしない。
	学習環境の整備	<ol style="list-style-type: none"> 1 本時で使うものだけを出す。 2 机の中及びカバン棚を整理する。 3 移動時の教室（机・イス）を整理する。
	家庭学習の習慣化	<ol style="list-style-type: none"> 1 低学年40分・中学年60分・高学年90分・中学生120分（部活終了後3年は180分）以上に取り組む。 2 テレビやゲーム、スマホ等のスイッチを切り、静かな環境で学習する。（ケータイ・スマホ・ゲーム等午後9時OFF）

研究テーマ	自立した帖佐っ子の育成 ～小中9か年の連携を通して～
研究の仮説	小学校4校（帖佐小・建昌小・松原なぎさ小・三船小）と帖佐中学校が連携を密にし、共通実践事項に取り組めば、生きる力にあふれ、自立した児童・生徒を育成できるのではないかと。

研究テーマの具現化	部会	共通実践事項 (校種や学年に応じた指導を徹底する。)
	学習の自立	<ol style="list-style-type: none"> 1 学習環境を整え、学業指導を徹底することにより、学習の心構えを身に付けさせる。 2 見通しを持ち児童・生徒が主体的に取り組む授業をデザインする。 3 思考・判断・表現する力の伸長を意識した授業を実践する(論理的な思考・表現(結論・根拠・理由付け))。 4 家庭学習の習慣を身に付けさせる。 5 宿題は必ず提出させる（取り組ませる）。
	生活の自立	<ol style="list-style-type: none"> 1 元気なあいさつを実践させる。 2 清掃活動に一生懸命取り組ませる。 3 思いやりの気持ちを育てる(言葉遣い)。 4 規範意識や我慢する力を高めさせる。 (公共施設や学校内外での行動等) 5 学校や地域の行事に積極的に参加させる。
	健康の自立	<ol style="list-style-type: none"> 1 早寝・早起き・朝ご飯・歩いて(自転車)で登下校に取り組ませる（メディアとの関わりを考えさせる。）。 <p>※ 就寝の目安 (小) 低9:00 中9:30 高10:00 (中) 11:00</p> <ol style="list-style-type: none"> 2 交通ルールを守らせる。 3 一校一運動を通し、体力向上に取り組ませる。 4 疾病治療に取り組ませる。

地域
三二一
地学各域習学校の支援の取組状況等について
人材の取組状況等について
の学習活動への活用
の活用
の情報提供と理解推進

※ ◎は今年度の最重点課題